# JAS・JFSの普及対策事業

## 【令和4年度補正予算概算要求額 60百万円】

#### <対策のポイント>

国産食品の将来の輸出増大に向けたステップとして、グローバル市場を意識した取組みを加速させるため、①有機JAS認証の負担を軽減し、有機農業の **取組面積拡大**を図る。②国際標準に準拠した食品安全マネジメント規格である **J F S 規格の取得数の拡大を**図る。

#### 〈事業目標〉

- 輸出額2兆円[2025年まで]、5兆円[2030年まで]
- 有機農業の取組面積 6.3万ha 「2030年まで」、100万ha 「2050年まで」

## く事業の内容>

#### く事業イメージ>

#### 1 有機JAS普及対策

有機」AS制度の運用改善効果の実証と更なる改善につなげるため、有機JA **S認証取得等を支援**するとともに、申請書類等のオンライン化の実証に向けてオンラ

30百万円

イン化の方向性・手法を検討するために必要な調査、検討会の開催等を支援する。

30百万円

実

証

結果反

認証支援 新たな実証事業 申請書類等の オンライン化の

有機JAS認証制度の更なる改善につなげる認証取得支援

更なる改善につなげる

申請書類等の

取得の推進

·有機JAS認証

オーガニック市場 の拡大

### 2 日本発食品安全マネジメント規格の普及対策

食品事業者の衛生管理知識の向上を図り、JFS規格の認証取得への導入となる 各種研修の実施を支援するとともに、JFS規格取得のモデルを選定し、取得に要する 費用を支援しつつ、取得ノウハウを情報発信し、横展開する取組みを支援する。

JFS規格取得に向けた支援 2 販路拡大 ifsm ifsm ifsm 国際標準の食品安全 HACCPに基づく HACCPの考え方を マネジメントシステム 取り入れた衛生管理 衛生管理

## <事業の流れ>

玉

定額

民間団体等

定額、1/2

民間団体等

(生産者、食品事業者を含む)

[お問い合わせ先] 大臣官房新事業・食品産業部食品製造課

(1の事業) 基準認証室

(03-6744-7139)

(2の事業) 食品企業行動室(03-3502-5743)